



遊 福
 遊 福
 十二 卷



遊 福
 遊 福
 遊 福

古 我 堂 一



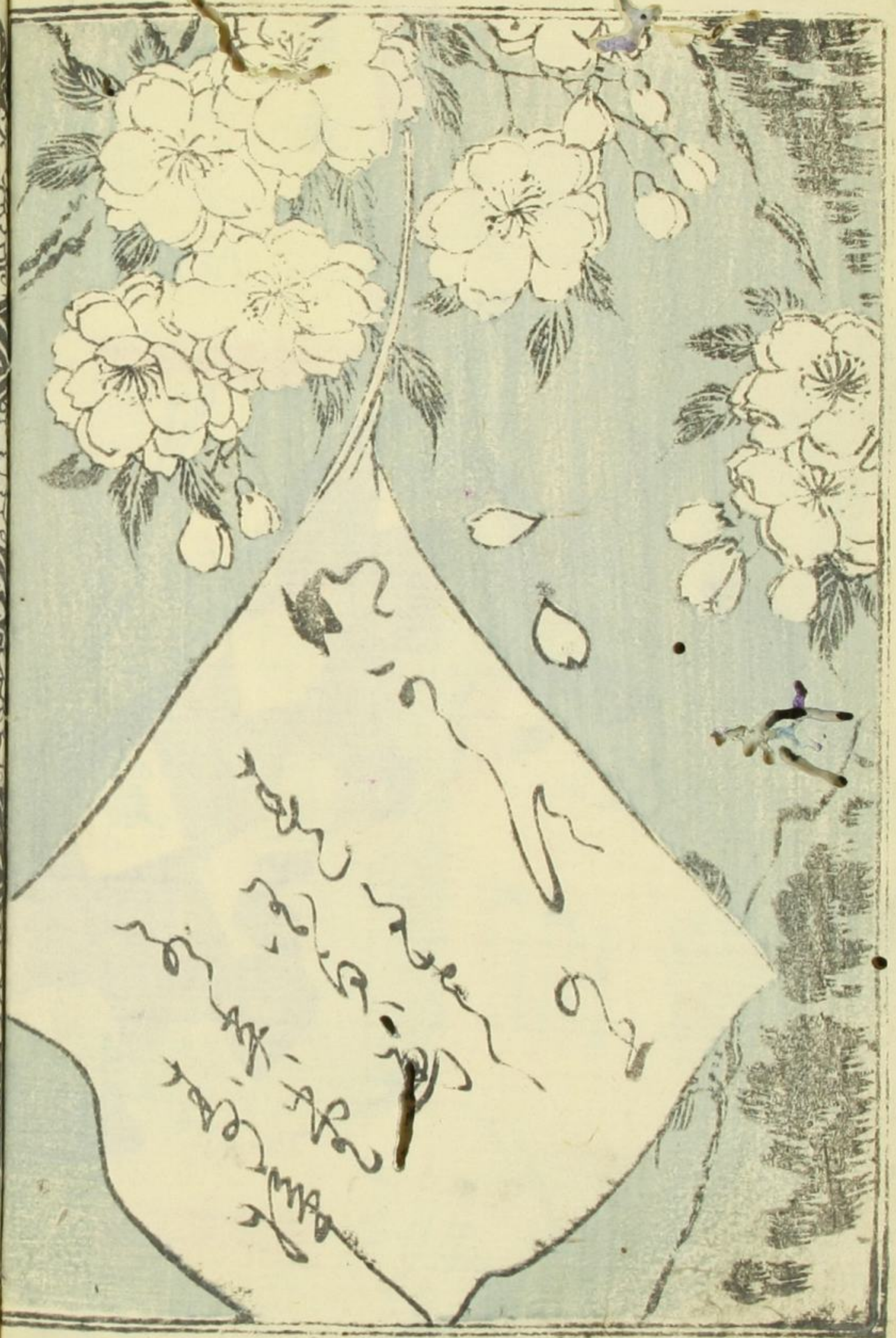


以得柳子
種者正園
貞画

上篇二十

A418
12

48-7558



子血嘗君が食客小鶏の聲色つらせ關を越しといふ話清少納言の哥小
 咏と大打童子も其故事を知りて此事燕丹子と云古書に
 燕丹去泰到關々門未開丹爲鶏鳴衆鶏皆鳴遂得逃歸
 唐の歐陽詢が藝文類聚小録に子血嘗君が燕丹のつらせ關の
 價大套あれど燕丹子者人稀小孟嘗君の史記に載とある人
 多くとて燕丹の出店のやうなものをこれ人の駒は角生鳥の頭の白く
 ありし奇異な名ありて鶏の沙汰は故事とて後世も縁のふた
 あり縁ある所り合巻繪草紙の類も佳作の書ねも有拙者
 の當りありさして明鴉のつらせ關も目も觸る人ありは
 物小縁のありて鳥の頭のまろと臭き作振は漸もせと駒の角あ
 りの夏又も華をとりのまのドツカカ一帙をもちあぬ
 慶應二年新刊

一帙をもちあぬ
 種彦

嬌賊且見下

轉
轉
院
尾
公

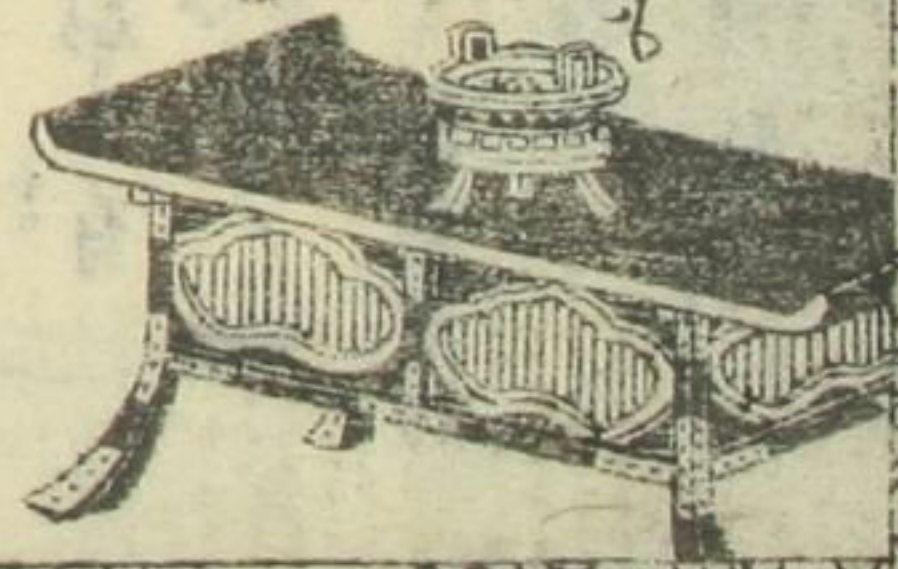


春日谷時次郎

時次郎

且見とも
妙齡

後々
氷解
後々
氷解





2

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, filling the left page of the manuscript.

Handwritten vertical text on the left margin of the left page.

Small handwritten mark or character at the bottom left of the left page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the left page, filling the right page of the manuscript.



Handwritten vertical text on the right margin of the right page.

Small handwritten mark or character at the bottom right of the right page.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page.

Handwritten text in a cursive script, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the right page.

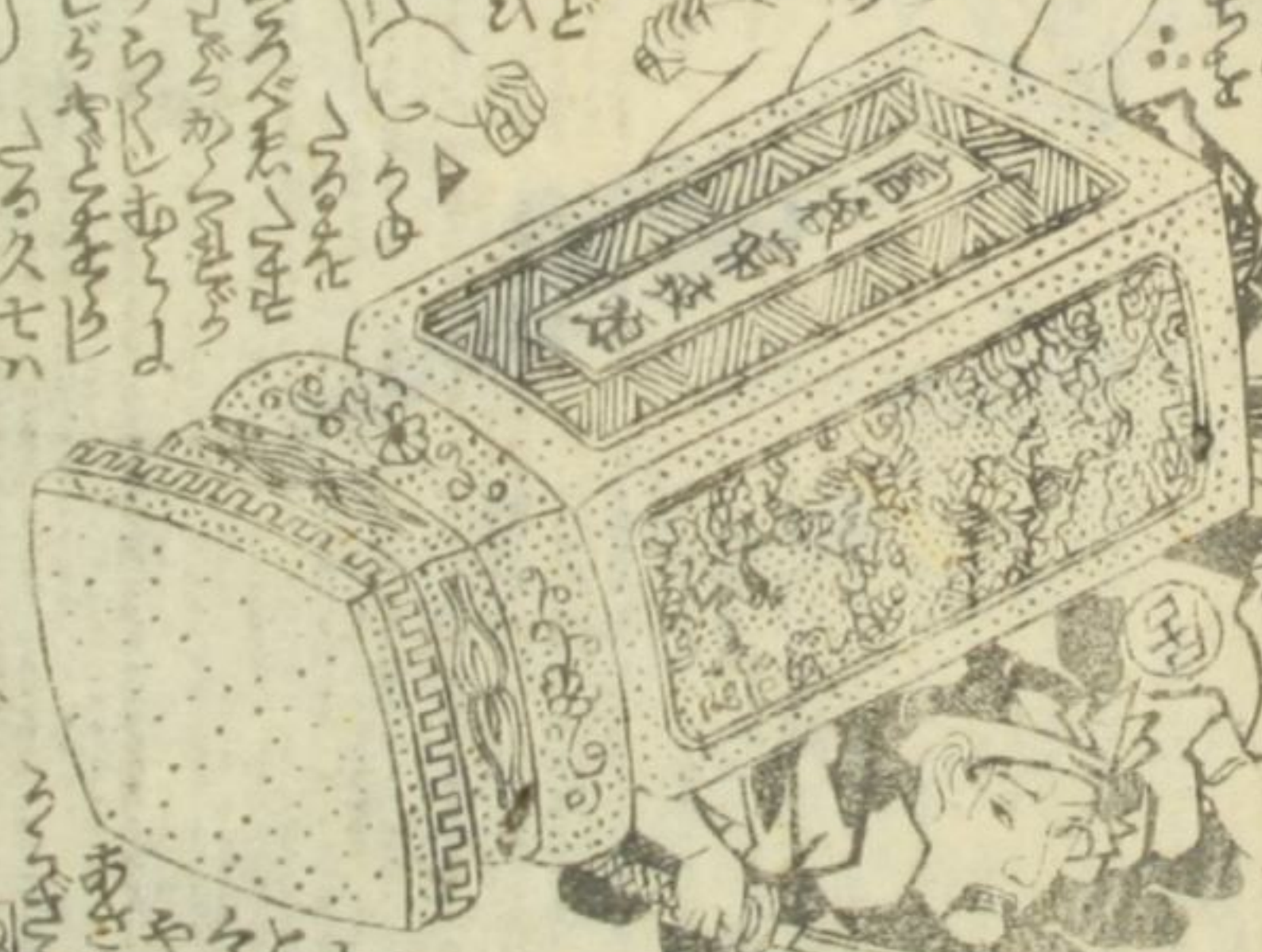


月鳥十二
 此の物語は、
 月鳥の物語に
 関するものである。
 月鳥は、
 昔の物語に
 登場する人物で、
 彼の物語は、
 多くの文芸作品に
 取り上げられてきた。
 この物語は、
 月鳥の生活や、
 彼の愛する女性との
 関係を描いている。
 月鳥は、
 勇敢で、
 正義感あふれる人物で、
 彼の物語は、
 多くの人々に
 愛されている。
 この物語は、
 月鳥の物語の
 一つの場面を描いて
 いる。

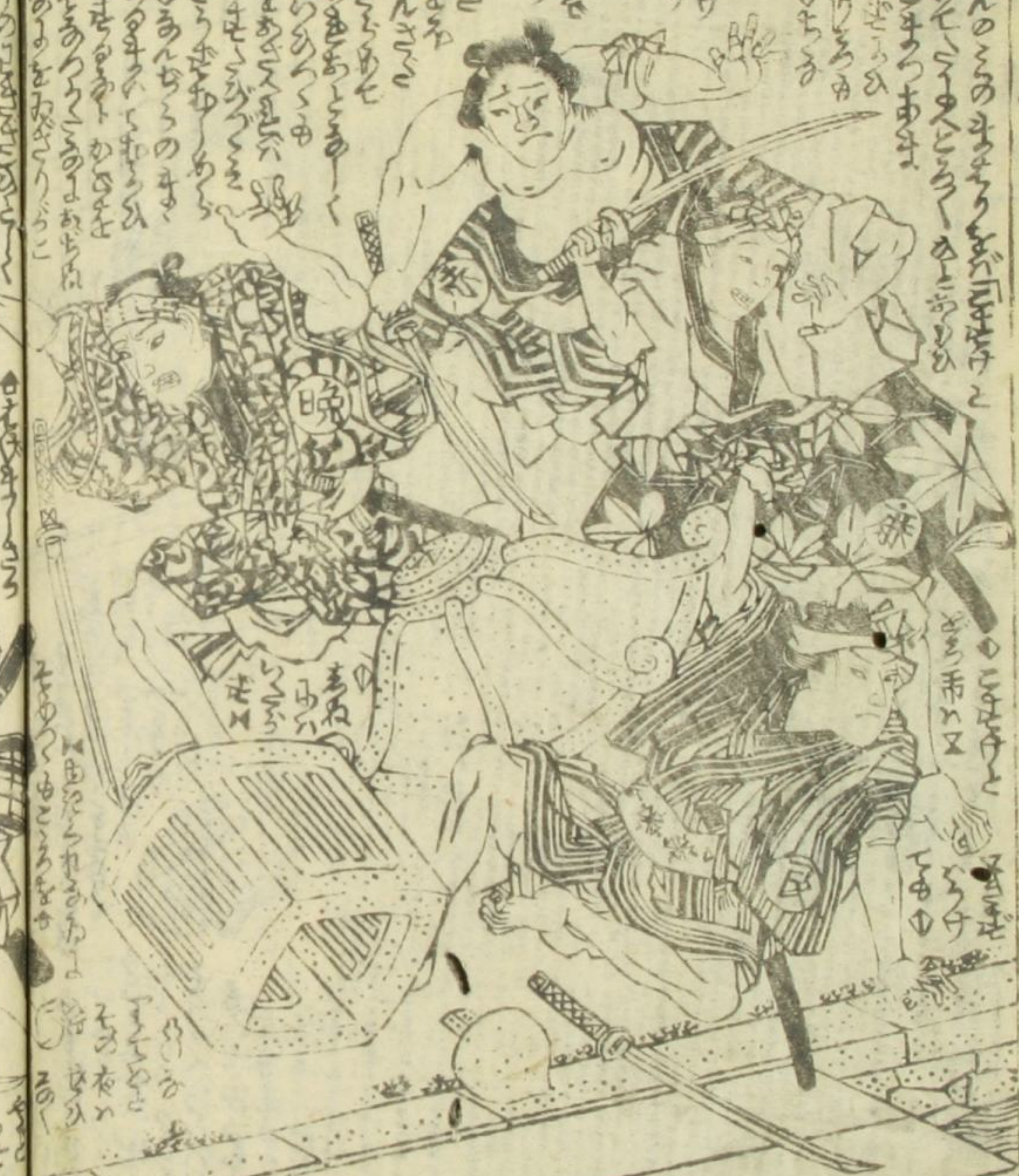
Handwritten text in a cursive script, likely a historical or narrative record, covering both pages of the manuscript. The text is arranged in columns, often surrounding the illustrations.



Handwritten text block located between the two main illustrations, possibly serving as a bridge or a specific note.



Handwritten text block located at the bottom of the page, below the chest illustration.



IZ 111





實世散

山姥十鳥
中橋南傳馬山東画
十葉堂茶種製
四のめ

柳蔭月朝妻

一編
大尾

山々亭有人作
梅朝樓國貞画

藪黄鶡八幡不知

一編
大尾

山々亭有人作
錦朝樓芳席画

阿玉ヶ池櫛月形

五編
大尾

山々亭有人作
陽齊豐國画

池本綿繪團扇門屋

紅英堂萬吉



岳堂主人

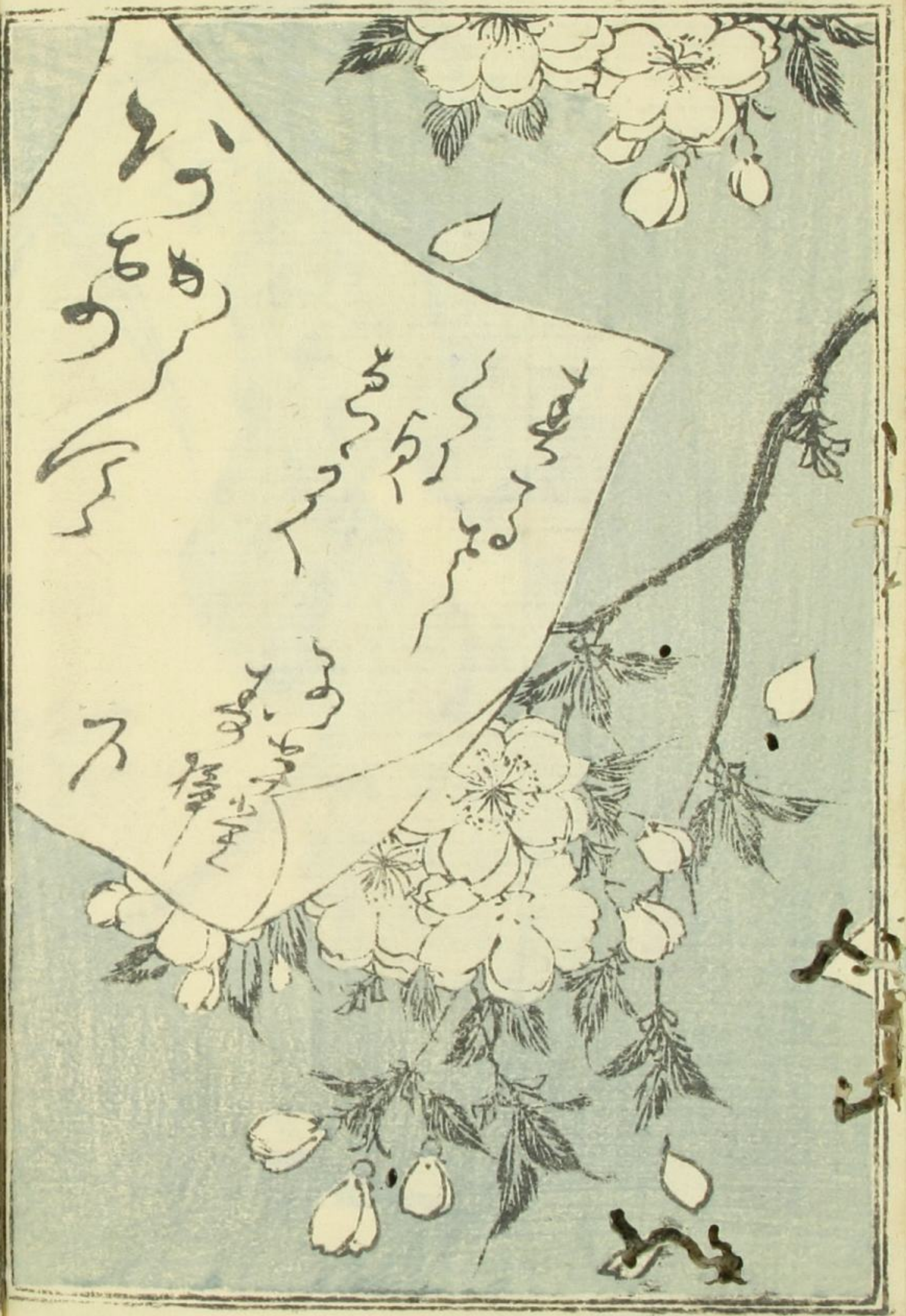
十二篇下

木石

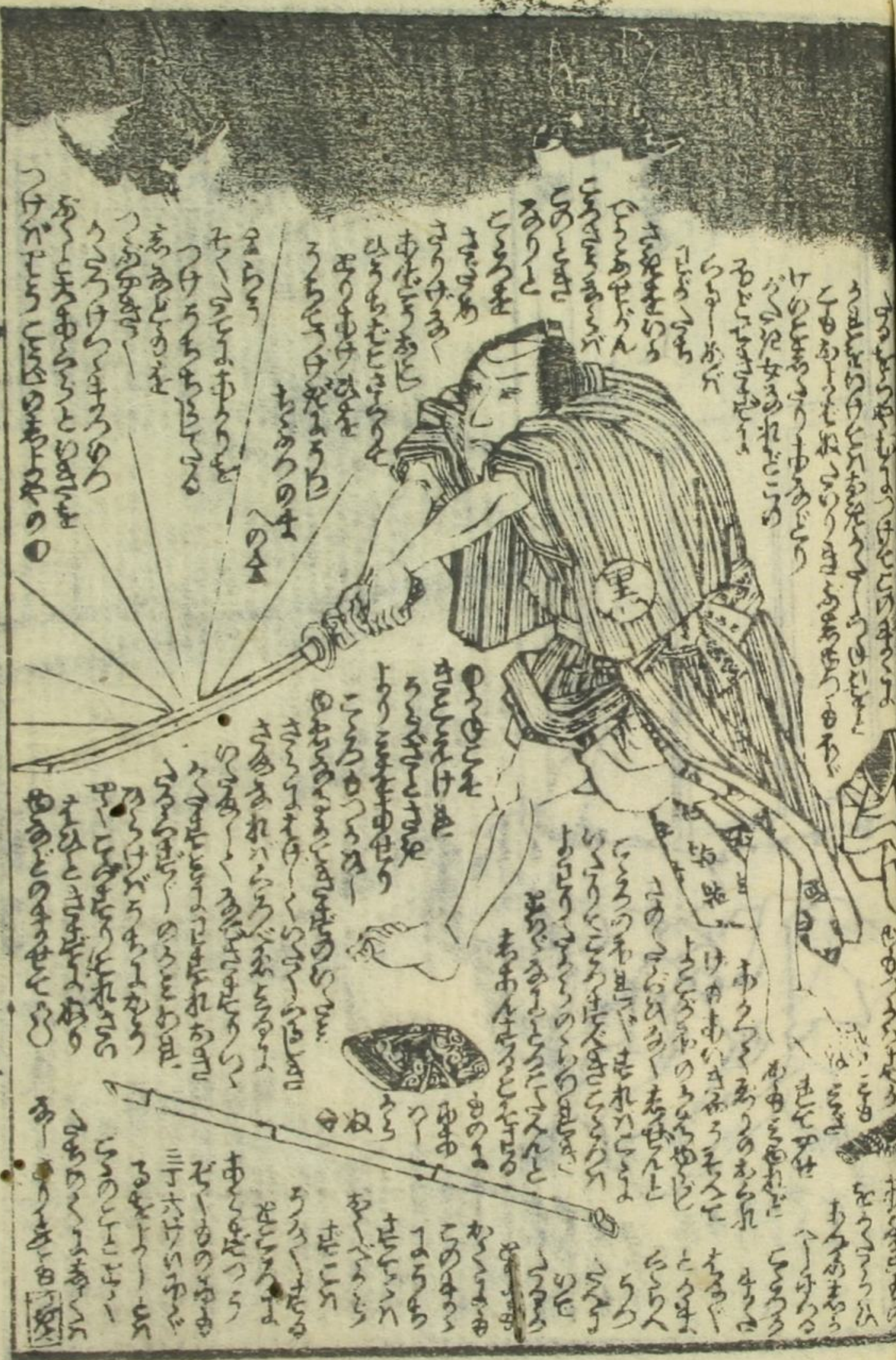




明
傳
十二







此の如く
 一ノノ
 二ノノ
 三ノノ
 四ノノ
 五ノノ
 六ノノ
 七ノノ
 八ノノ
 九ノノ
 十ノノ
 十一ノノ
 十二ノノ
 十三ノノ
 十四ノノ
 十五ノノ
 十六ノノ
 十七ノノ
 十八ノノ
 十九ノノ
 二十ノノ
 二十一ノノ
 二十二ノノ
 二十三ノノ
 二十四ノノ
 二十五ノノ
 二十六ノノ
 二十七ノノ
 二十八ノノ
 二十九ノノ
 三十ノノ
 三十一ノノ
 三十二ノノ
 三十三ノノ
 三十四ノノ
 三十五ノノ
 三十六ノノ
 三十七ノノ
 三十八ノノ
 三十九ノノ
 四十ノノ
 四十一ノノ
 四十二ノノ
 四十三ノノ
 四十四ノノ
 四十五ノノ
 四十六ノノ
 四十七ノノ
 四十八ノノ
 四十九ノノ
 五十ノノ
 五十一ノノ
 五十二ノノ
 五十三ノノ
 五十四ノノ
 五十五ノノ
 五十六ノノ
 五十七ノノ
 五十八ノノ
 五十九ノノ
 六十ノノ
 六十一ノノ
 六十二ノノ
 六十三ノノ
 六十四ノノ
 六十五ノノ
 六十六ノノ
 六十七ノノ
 六十八ノノ
 六十九ノノ
 七十ノノ
 七十一ノノ
 七十二ノノ
 七十三ノノ
 七十四ノノ
 七十五ノノ
 七十六ノノ
 七十七ノノ
 七十八ノノ
 七十九ノノ
 八十ノノ
 八十一ノノ
 八十二ノノ
 八十三ノノ
 八十四ノノ
 八十五ノノ
 八十六ノノ
 八十七ノノ
 八十八ノノ
 八十九ノノ
 九十ノノ
 九十一ノノ
 九十二ノノ
 九十三ノノ
 九十四ノノ
 九十五ノノ
 九十六ノノ
 九十七ノノ
 九十八ノノ
 九十九ノノ
 百ノノ



此の如く
 一ノノ
 二ノノ
 三ノノ
 四ノノ
 五ノノ
 六ノノ
 七ノノ
 八ノノ
 九ノノ
 十ノノ
 十一ノノ
 十二ノノ
 十三ノノ
 十四ノノ
 十五ノノ
 十六ノノ
 十七ノノ
 十八ノノ
 十九ノノ
 二十ノノ
 二十一ノノ
 二十二ノノ
 二十三ノノ
 二十四ノノ
 二十五ノノ
 二十六ノノ
 二十七ノノ
 二十八ノノ
 二十九ノノ
 三十ノノ
 三十一ノノ
 三十二ノノ
 三十三ノノ
 三十四ノノ
 三十五ノノ
 三十六ノノ
 三十七ノノ
 三十八ノノ
 三十九ノノ
 四十ノノ
 四十一ノノ
 四十二ノノ
 四十三ノノ
 四十四ノノ
 四十五ノノ
 四十六ノノ
 四十七ノノ
 四十八ノノ
 四十九ノノ
 五十ノノ
 五十一ノノ
 五十二ノノ
 五十三ノノ
 五十四ノノ
 五十五ノノ
 五十六ノノ
 五十七ノノ
 五十八ノノ
 五十九ノノ
 六十ノノ
 六十一ノノ
 六十二ノノ
 六十三ノノ
 六十四ノノ
 六十五ノノ
 六十六ノノ
 六十七ノノ
 六十八ノノ
 六十九ノノ
 七十ノノ
 七十一ノノ
 七十二ノノ
 七十三ノノ
 七十四ノノ
 七十五ノノ
 七十六ノノ
 七十七ノノ
 七十八ノノ
 七十九ノノ
 八十ノノ
 八十一ノノ
 八十二ノノ
 八十三ノノ
 八十四ノノ
 八十五ノノ
 八十六ノノ
 八十七ノノ
 八十八ノノ
 八十九ノノ
 九十ノノ
 九十一ノノ
 九十二ノノ
 九十三ノノ
 九十四ノノ
 九十五ノノ
 九十六ノノ
 九十七ノノ
 九十八ノノ
 九十九ノノ
 百ノノ



117
118

おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは

おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは



119
120

おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは
おのれは

厚化粧萬年嶋田

片編 春水作
大尾 國貞画

新島九尾傳

片編 春水作
大尾 國貞画

室町源氏胡蝶卷

三編 種彦作
大尾 國貞画

筆海四國聞書

十五編 種彦作
大尾 國貞画

鼠洞通夜譚

一編 種彦作
大尾 國貞画

明鴉墨画廻襦袢

片編 種彦作
大尾 國貞画

童謡妙々車

三十編 種彦作
大尾 國貞画

花封蒼玉章

十編 種彦作
大尾 國貞画

薄俤幻日記

三十編 春水作
大尾 國貞画

八犬傳大の表紙

六十一編 種彦作
大尾 國貞画

七幼き鳥飾譚

十五編 種彦作
大尾 國貞画

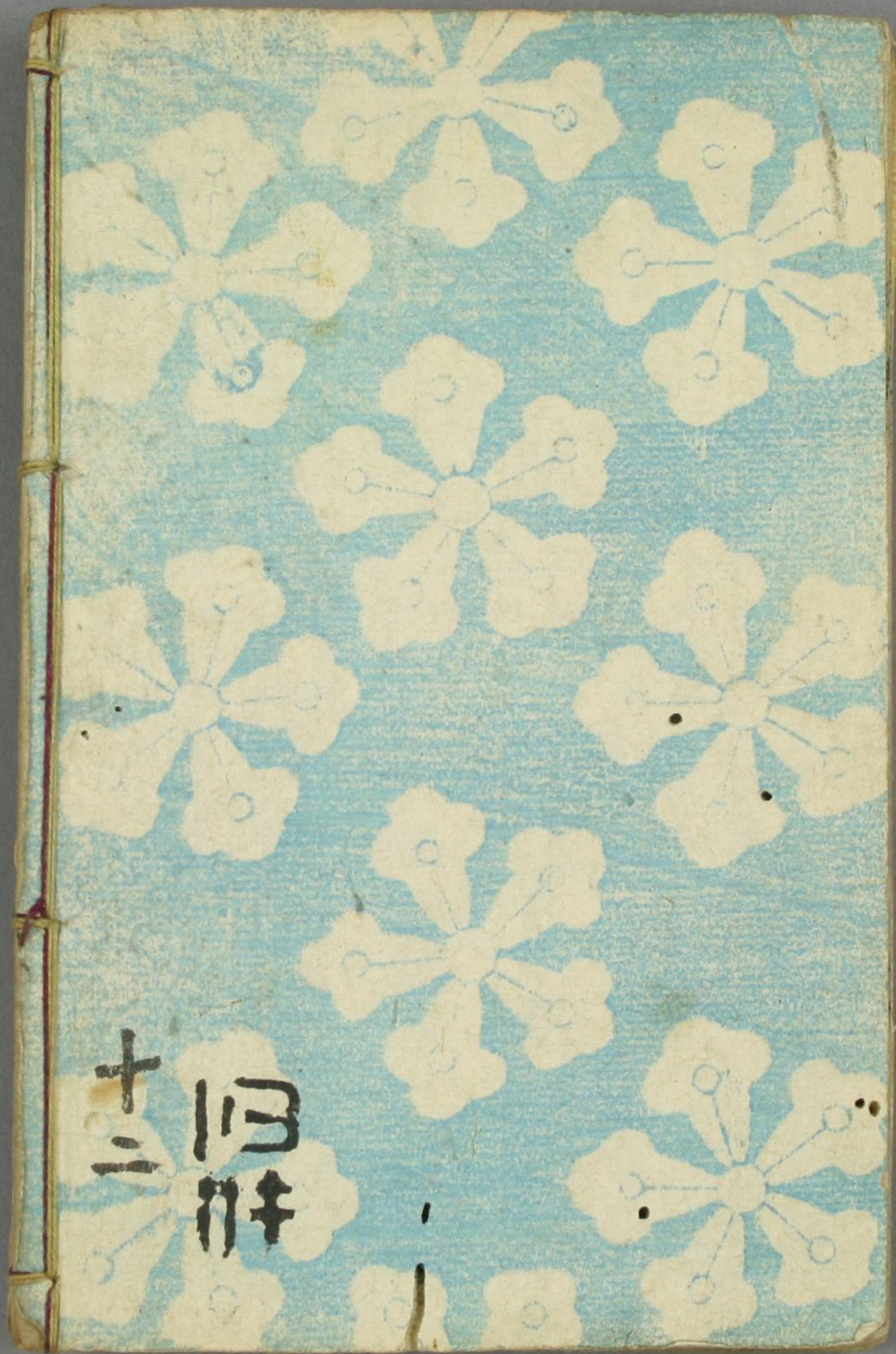
鳥屋吉藏板



種彦作國貞画

まことの上方のちとせのうたは...
あつちのちとせのうたは...
あつちのちとせのうたは...
あつちのちとせのうたは...

あつちのちとせのうたは...
あつちのちとせのうたは...
あつちのちとせのうたは...
あつちのちとせのうたは...



十四時